

1. 私たちは、今回に協議会を通し、建築士として、また、生活者としての視点から 住まいづくりやまちづくりを考え、生活に潤いを与える環境づくりを目指します。
2. 私たちは、今回の基調講演を通して、建築士として、受け継がれてきた伝統技術を守り育て活かすことにより、豊かな空間づくりに取り組んでまいります。
3. 私たちは、災害報告等を通し、建築士として、被災者を思う心を忘れずに、継続して復興支援のあり方を模索し、災害時における支援活動に取り組んでまいります。
4. 私たちは、様々な専門分野の方々と連携しながら、建築士としての能力を活かし、安心安全な社会の実現のために日々研鑽してまいります。



令和5年度 各支部役員紹介

鶴岡田川	齋藤 美恵
酒田	古川 美紀
米沢	村山 紀子
長井	小笠原 華奈子
山形	原田 江美子
天童	高橋 美保子
西村山	奥山 麗子
村山	草刈 めぐみ
新庄	奥山 恵美
担当理事	小山 恵子

# あれこれ

2023年9月発行

令和5年度 第1号

担当：新庄支部

令和5年度 女性委員会事業計画

2023.4.1 (土) 県女性委員会 (女性委員長) 会議	2023.10.27-28 第65回建築士会全国大会 しずおか大会
2023.4.15 (土) 第1回東北ブロック女性委員長会議 (WEB)	2024.1月 第3回東北ブロック女性委員長会議 (WEB)
2023.7.29-30 第32回全国女性建築士連絡協議会 (石川県)	2024.3月 第13回東北ブロック青年大会山形大会
2023.7.1-8.31 緑のカーテン写真コンテスト (天童支部)	2023.9.16-17 東北ブロック会女性委員会あおもり大会 第2回東北ブロック女性委員長会議
2023.10.7 (土) 第5回建築女子フォーラム 歴史的風致探訪 「国指定史跡松ヶ岡開墾場」自然と歴史を感じて (第1ブロック主幹)	あれこれ発行 (年3回) 2023.8月、2023.11月、2024.3月発行予定

令和5年度 県本部合同委員会報告

鶴岡田川支部 齋藤美恵

7月5日、合同委員会が山形市の協同の杜JA研修所にて開催され、女性委員会では今年度の事業計画が話し合われました。

1. 女性建築士の育成と会員増強について

女性委員会主催の建築女子フォーラムへの参加を呼びかけ、活動の広報と周知を進め、建築士会への入会を促していきます。また賛助会員企業等団体で活躍している女性への案内を積極的に進めます。

2. 研修会見学会の実施について

第5回建築女子フォーラムの開催

開催日 令和5年10月7日(土)

会場 鶴岡市羽黒町松ヶ岡開墾場

テーマ ～歴史的風致探訪「国指定史跡 松ヶ岡開墾場」自然と歴史を感じて～

毎年9支部が順番に担当して各支部地域の歴史や代表的な建造物を学ぶフォーラムは今年度鶴岡田川支部が担当、歴史的風致地区のひとつである松ヶ岡開墾場にて絹産業の歴史と文化に触れていただく講演会と見学会を計画しています。

3. 広報誌『あれこれ』の刊行について

今年度の担当は新庄支部で、年3回発行の予定です。全国女性建築士連絡協議会(全建女)、東北ブロック大会、建築女子フォーラム、全国大会参加記事を掲載するほか、各支部独自の活動も記事にまとめる予定です。

4. その他について

・全国女性建築士連絡協議会7月29日・30日石川県金沢市会場18名、WEB5名、計23名参加しました。

・東北ブロック大会青森大会9月16日・17日 7名参加予定

・全国大会しずおか大会10月27日・28日 13名参加予定

・令和7年度の全国女性建築士連絡協議会の開催地が山形県に決定しました。(東北ブロック山形大会も同時開催の予定)日程は令和7年7月19日・20日、会場は交通の利便性を考慮し山形市内(大会は山形テルサ、懇親会はメトロポリタン山形)を予定しています。講演やエクスカージョン、分科会、懇親会など検討する課題が多くあります。

皆様方のご指導、ご協力をいただきながら進めていきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

活動紹介

こちらでは、建築士会各支部等の活動を紹介しております。ご興味のある方は各支部等へ直接お問い合わせください。

また、各支部等でご紹介したい活動がございましたら各支部の女性委員までご連絡ください。

入会者を募集中!

お問合せ：山形県建築士会

☎0233-643-4568

http://www.yamagata-ken.org

緑のカーテン写真コンテスト

第4回 Green Curtain

募集期間 2023 7.1-8.31

緑のカーテン写真は10周年を迎えます!

対象 個人やご家族、職場や学校、保育園などなたでも緑のカーテンに関するオリジナル写真(風景まきや水やり、緑陰でくつろぐ様子など自由な内容で未発表の写真)を、タイトルとコメント(「工夫した点やエピソード等」)を添えて送ってください

募集期間 2023年7月1日から8月31日まで、写真を下記アドレス宛にメールで送ってください

ten.ken.jo@gmail.com

主催：(一社)山形県建築士会天童支部女性委員会  
後援：天童市地球温暖化対策協議会

※募集要項は裏面

第5回建築女子フォーラム

第5回 建築女子フォーラム

～歴史的風致探訪「国指定史跡松ヶ岡開墾場」自然と歴史を感じて～

【日時】令和5年10月7日(土曜日)

10:30~15:00(受付10:00~)

【会場】松ヶ岡開墾場

〒997-0158 山形県鶴岡市羽黒町松ヶ岡字松ヶ岡28

【参加費】女性委員会委員：500円

女性委員会委員以外の方：3,000円

(資料代、保険料、昼食代)

【講演】「松ヶ岡開墾の歴史」～刀を鎌に持ち替えて～

……致道博物館代表理事館長 酒井 忠順氏

「四番壺室シルクミライ館改修工事について」(仮)

……鶴岡市教育委員会管理施設係 専門員 渡邊 卓也氏

……笠原建設工業株式会社工事部長 富田 富朗氏



主催 一般社団法人山形県建築士会女性委員会



令和5年度全国女性建築士連絡協議会に参加して  
山形支部 鈴木 有希

エクスカージョン～石川県立図書館見学～に参加して  
山形支部 原田 江美子

**【基調講演】**  
石川らしい文化でおもてなし  
北陸新幹線金沢駅舎は伝統工芸による「美術館のような金沢駅」  
講師 金沢学院大学名誉教授 大場 吉美氏

美術館のような金沢駅という題目で、伝統工芸品30品目236点の展示、駅をつなぐ柱に24作品の展示の実現化に向けての話や、実際展示するにあたり配置など話がありました。沢山の工芸品がある事にも驚きました。16cmの円の中に工芸品を展示するにあたり、大きいものは一部を展示すると話がありました。一部でどのくらい表現できるのかと思いましたが、実際駅でみても十分表現できていました。存在感もとてもあり、驚きました。

金沢駅で沢山の工芸品を展示していることは、手軽に工芸品を知り触れることができ、伝統という意味でもとても素晴らしいと感じてきました。



エクスカージョン～加賀水引体験～に参加して  
山形支部 齊藤智恵美

加賀水引は以前から興味があり、綺麗だな…可愛いな…とながめていた工芸をつくれるという事で参加してきました。会場はオーナーさんのご厚意でお借りした築90年の金沢町屋でした。当時の面影を残しつつ水廻りを改修してお住まいとのこと。タイムスリップしたような空間の中での水引体験でした。水引作家の井波佳奈先生のご指導のもと数百色の水引から3色選び、編んだり組んだり試行錯誤しながら水引アクセサリーをつくってきました。色選びも個性がでていて、他県の方々ともお話しつつ楽しい時間を過ごしてきました。伝統工芸に触れる貴重な経験でした。

教えていただいた井波先生は21世紀美術館で個展を開かれている素敵な先生でした。インスタ“mizuhiki.art.namika”を是非覗いてみてください。



7月29、30日 第32回全国女性建築士連絡協議会が石川県金沢市で開催されました。

今年も基調講演、分科会、エクスカージョンなど盛りだくさんの内容でしたが、私が最も印象深かったのは、エクスカージョンで見学した石川県立図書館でした。

昨年、全国大会あきた大会のときに訪れた、国際教養大学図書館と同じ、仙田満氏による設計です。

計画当初から携わっている石川県庁職員で、建築士会女性委員会のメンバーでもある方から、概要や当時のエピソードなど聞く事ができたのも貴重な経験でした。

本のページをめくるイメージの外観からは想像できないような円形の大閲覧空間。秋田の国際教養大学図書館が『森』のイメージなのに対し、石川県立図書館は『近未来的』という印象でした。

閲覧エリア以外にも、こどもエリア、文化交流エリアなど様々なスペースがあり、子供が元気に遊んでいたり、また別のエリアでは料理教室が開催されたり、集中したい人はサイレントルームで勉強したり。図書館は静かに本を読むところ、という固定概念が一気に吹っ飛んでしまうような衝撃を受けました。

これだけ色んなエリアがあると、迷ってしまいそうですが、階やエリアによって加賀五彩【古代紫（むらさき）・臙脂（えんじ）・藍（あい）・草（くさ）・黄土（おうど）】で色分けし、吹抜けを見上げるとフラッグが各々の方角を表示しています。

また、通路や家具も同様に色分けされ、書架の間などさり気なく金沢の伝統工芸品が飾られていたり、使いやすさと伝統工芸がうまく共存していると感心させられました。

この事も、初日の基調講演～石川らしいおもてなし北陸新幹線金沢駅は伝統工芸「美術館のような金沢駅」～を聞いたからこそ感じたのだと思います。

帰りに、金沢駅を訪れると、来た時には気づかなかった、「美術館のような金沢駅」をじっくり眺めて岐路についていたのです。



昨年7月に開館 “美しい図書館” として話題の石川県立図書館

昨年、登録有形文化財に登録された大分県大分市佐賀関（通称：地藏ヶ崎）にある関崎灯台について、①灯台の現状②関崎灯台の特徴③登録有形文化財登録までの流れ④登録後のイベント、について報告がありました。

関崎灯台は全体が鉄造の灯台であり、全国で現存する4基のうちの1基です。

地元から灯台を地域活性化の核にしたいとの要望を大分市文化財課が受け文化財とするための調査依頼があり、ヘリテージマネージャー受講生を中心に令和3年初めより調査が開始されました。

文化財課に成果品を提出後、令和4年3月に文化庁に答申がなされ、令和4年6月29日に登録となりました。

地元支部会員や学生の協力で草刈りからはじまった調査時のエピソードをお話いただきました。

登録記念イベント開催では、大分県出身で灯台の書籍「灯台から考える海の近代」を執筆されている金沢大学准教授の谷川竜一氏と灯台女子として雑誌「灯台どうだい？」編集長の不動まゆう氏を大分にお招きし、講演会・シンポジウムを開催しようという企画に発展し、「関崎灯台の登録有形文化財」の登録記念イベント～関崎灯台と佐賀関まちづくり～が開催されました。

現地見学会、講演会とシンポジウム、流木アート展示、パネル展示、貝殻風鈴製作ワークショップなど様々な催しが行われました。

登録記念という事でイベントを開くことができ、これをきっかけに「灯台を核とするまちづくり」の未来を願う気持ちは皆同じでした。との報告がありました。



小関さんは灯台の活動だけでなく、幅広く活動されていますのでヘリテージ研修の内容、木育の取組や青年部活動、女性職人の会など関崎灯台を登録有形文化財への登録からつながる活動をお話いただきました。

質疑応答では火の見櫓を登録有形文化財にするために活動されている方から、関崎灯台の建築年の根拠をどのような形で報告したか、メンテナンスの方法、調査報告書はどこで入手することができるかの質問がありました。

また、山形県建築士会の小山さんより、山形県酒田港の木造灯台の説明がありました。

報告の合間に灯台の書籍、雑誌を回覧していただきました。ぱらぱらとしか拝見できませんでしたがゆっくり読んでみたいと思いました。

風景の一部でしかなかった灯台が今回の報告を聞いて、興味深いストーリーをもった存在であると気づきました。

小関さんの事務所がある「友情の家」のストーリーもとても興味深く、重光葵についても調べてみたいと思いました。